

#### 4 意見の概要と市の考え方

##### ◎「第1章 姫路市観光戦略プランとは」に関すること

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
1	1	観光戦略プランは、今までどのような計画を進めてきたのか。今までの計画の実施状況などを記載することで、今後につながるのではないか。	(修正) ご意見を踏まえ、巻末に「姫路市観光計画策定推移」を記載いたします。
2	2	「4 ③ブランド価値の向上と市民の誇りの醸成」について、姫路市の特性や観光との関わりなどに言及すべきではないのか。また、「4 姫路市における観光の意義について」、同じような内容の記載が見受けられるため、今一度整理すべきではないか。	(修正) ご意見を踏まえ、加筆修正いたします。  (旧) ③ブランド価値の向上と市民の誇りの醸成 観光を通じて「姫路」をプロモーションすることは知名度を上げることにつながり、また、実際に来訪し、滞在して満足いただくことで、姫路市のブランド価値が向上します。 また、知名度が上がり、ブランド価値が高まれば、市民の姫路市への愛着や誇りにつながります。 ④まちの魅力や機能の向上 観光を推進するためのインフラ整備や地域資源の魅力化は、来訪者だけではなく、市民にとっても住みやすく、また、まちの魅力の再発見につながります。 また、姫路市においても人口減少・少子高齢化の進行や若年人口の流出、中心部から離れた周辺地域の衰退が見られる中、来訪者や関係人口の増加は、まちの魅力や機能を維持することにもつながります。  (新) ③市民の誇りの醸成とまちの魅力・機能の向上 <u>古くより播磨の中心として栄え、豊かな風土を背景に、恵まれた地域である「姫路」を、観光を通じプロモーションし、来訪・滞在された観光客に満足いただくことで、姫路市としてのブランド価値が高まります。ブランド価値の高まりは、市民の姫路市に対する愛着や誇りにつながります。</u> <u>また、観光を推進するためのインフラ整備や地域資源の魅力化は、来訪者だけではなく、市民にとっても住みやすく、まちの魅力の再発見につながります。姫路市においても人口減少・少子高齢化の進行や若年人口の流出、中心部から離れた周辺地域の衰退が見られる中、交流人口や関係人口の拡大は、まちの魅力や機能を維持することにもつながります。</u>

◎「第2章 姫路市の観光の現状と取り巻く動向」に関すること

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
3	6	観光分野においても、SDGsに取り組まなければならないことは理解できるが、姫路市として何か取り組んでいることはないのか。	<p>(修正) ご意見を踏まえ、姫路市での取り組みについて記載します。</p> <p>(新) ③SDGs、持続可能な社会への関心の高まり</p> <p>(略) 姫路市では、令和3年(2021年)5月に内閣府より「SDGs未来都市」に選定され、「姫路市SDGs未来都市 ～世界をつなぐSDGs推進都市ひめじの夢～」として、令和12年(2030年)のあるべき姿として、世界文化遺産・国宝姫路城に頼るだけではなく、国際人材(グローバル人材)を育成する先進都市を目指すほか、姫路市で郷土愛を育み、脱炭素型のライフスタイルを身に着けたSDGsマインドを持つ若者が、姫路地域で活躍しつつ、海外諸国と本国をつなぐ「架け橋」となっている姿を目指しています。 観光分野においても、姫路市の観光振興に寄与する人材の確保・育成、観光コンテンツの充実、観光客に寄り添った受入環境の整備、地域一体となった戦略的・継続的な観光地域づくり等によって、安全で安心な持続可能な観光を推進していきます。</p>
4	9	インバウンド観光の定義が「訪日外国人旅行者」であるなら、「インバウンド観光の推進」ではなく「インバウンド施策の推進」または「インバウンド観光の促進」ではないか。「促進」は外務省でも使用している。	<p>(参考意見) 平成29年度から現行戦略プランでの基本政策と掲げているため、従前とおりの記載とさせていただきますが、今後のインバウンド観光の記載に際しましては、ご指摘の点を留意いたします。</p>
5	15	「②中央卸売市場の移転に伴う「場外用地にぎわい創出事業」の実施」について、事業の実施による観光面での役割・期待などに言及すべきではないか。	<p>(修正) ご意見を踏まえ、加筆修正いたします。</p> <p>(旧) ②中央卸売市場の移転に伴う「場外用地にぎわい創出事業」の実施 令和4年度(2022年度)末の開場を目指す市場移転再整備事業に伴い、新市場の活性化と周辺地域の「食の拠点化」を目指した取組として、「場外用地にぎわい創出事業」を実施します。南東部の新たな集客拠点として期待されます。</p> <p>(新) ②中央卸売市場の移転に伴う「賑わい拠点施設」の検討 令和4年度(2022年度)末の開場を予定する市場移転再整備事業に伴い、新市場の活性化と周辺地域の「食の拠点化」を目指した取組として、「賑わい拠点施設」を検討しており、地域のにぎわいや特色ある地域づくりを進める核(基地)としての役割が期待されます。</p>

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
6	15	<p>「③車利用の玄関口として「(仮称)道の駅姫路」の開設予定」について、道の駅開設による観光面での効果等に言及すべきではないか。</p>	<p>(修正) ご意見を踏まえ、加筆修正いたします。</p> <p>(旧) ③車利用の玄関口として「(仮称)道の駅姫路」の開設予定令和8年度(2026年度)の「(仮称)道の駅姫路」の開設を目指し、現在、山陽道姫路東インターチェンジ周辺を候補地として検討中です。マイカーでの観光客が約7割を占めることから車利用の玄関口として期待されます。</p> <p>(新) ③車利用の玄関口として「(仮称)道の駅姫路」の開設予定「道の駅」は、道路利用者の休憩施設であるとともに、情報発信機能、地域連携機能を有する拠点として、全国では、1,000を超える施設が設置されています。近年では、施設自体が目的地となり、また、まちの特産品や観光資源を活かして、ひとを呼び、地域に雇用を生み出す地方創生の拠点としても注目を浴び、独自の進化を遂げているところもあります。 現在、国道372号沿線(播但連絡道路東側の花田インターチェンジ北東)を事業対象地として令和8年度(2026年度)の開設を予定しています。マイカーでの観光客が約7割を占めることから車利用の玄関口として期待されます。</p>
7	16	<p>姫路市の観光に関わる関連動向として、令和6年度にリニューアル(完成)予定である「姫路旅客ターミナル」を記載することはできないのか。</p>	<p>(修正) 本市にとって、海上交通(家島・小豆島方面)の玄関口であり、臨海部における人の賑わいと魅力ある交流の場になることが期待できるエリアであるため、記載を追加します。</p> <p>(新) ⑤姫路港旅客ターミナルエリアのリニューアル 姫路港旅客ターミナルエリアでは、ターミナル機能の集約や貨物と旅客の効率的な配置などの再編整備を行い、旅客船利用者の利便性・快適性の向上を図るため、平成30年3月に策定したリニューアル基本計画に基づき、令和6年度の完了を目指しています。再編整備によるにぎわいの創出が期待されます。</p>
8	22	<p>「課題1：姫路城の観光資源としての更なる活用、その他観光資源の磨き上げが必要」について、姫路城以外の地域資源の一つとして、食や特産品の活用を言及すべきではないか。</p>	<p>(修正) ご意見を踏まえ、加筆修正いたします。</p> <p>(旧) (略)</p> <p>姫路市への集客を高め、満足度を向上させることで、結果として消費増につなげるためには、知名度が高い姫路城の本質的な価値を高め、観光資源として活用することによって、周辺地域への波及をもたらすと同時に、姫路城以外の地域資源を観光資源として磨き上げ、魅力向上を図ることが必要です。</p> <p>(新) (略)</p> <p>姫路市への集客を高め、満足度を向上させることで、結果として消費増につなげるためには、知名度が高い姫路城の本質的な価値を高め、観光資源として情報発信することで誘客増を図り、周辺地域への波及をもたらす必要があります。更に、地域の魅力あふれる食や特産品等を活かし、より発信力のあるブランド力強化に取り組むなど、その他の地域資源を観光資源として磨き上げ、魅力向上を図ることが必要です。</p>

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
9	22	「課題2：観光客に安全・安心・快適に過ごすための受入環境づくりが必要」について、ストレスフリーを含め、今一度記載内容を整理する必要があるのではないか。	<p>(修正) ご意見を踏まえ、加筆修正いたします。</p> <p>(旧) 観光客の満足度を左右するのは観光コンテンツの魅力とともに、行き先で出会う人々から感じるホスピタリティやサービスの良さなどです。また、安全・安心して快適に観光するためには、SNSやホームページなどによるリアルな情報発信やキャッシュレスなど受入環境でのデジタル化対応も必須です。ポストコロナの観光回復期において、他地域との競争が激しくなる中、姫路への来訪者が満足するためにも、観光客のストレスフリーな受入環境の整備が必要です。</p> <p>(新) <u>観光客の満足度を左右するのは観光コンテンツの魅力とともに、行き先で出会う人々から感じるホスピタリティやサービスの良さなどです。また、安全・安心して観光いただくためには、SNSやホームページなどによるリアルな情報発信やキャッシュレスなどのデジタル化対応も必要となります。他地域との競争が激しくなる中、姫路への来訪者に満足いただくためにも、観光客の受入環境の整備が必要です。</u></p>

◎「第4章 姫路市の観光施策」に関すること

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
10	25	「戦略1：観光コンテンツの磨き上げによる魅力向上」について、姫路市立美術館などの姫路城周辺施設についても、文化的価値の高い観光資源として言及すべきではないか。	<p>(修正) ご意見を踏まえ、姫路城周辺施設も文化的価値価値の高い施設である点を言及します。また、多様な地域資源をさらに磨き上げ、魅力向上に努めます。あわせて、姫路城以外の観光コンテンツとしての活用イメージ図を挿入します。</p> <p>(旧) 姫路市の観光の魅力を上向きさせるため、姫路城の更なる活用によって文化的な価値を高め、城周辺において観光事業者や商店街等と連携し、新たな魅力を創出するほか、歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりなどの取り組みを推進します。また、姫路市には豊かな自然、歴史、文化によって育まれてきた地域が点在していることから、現地でしか味わうことができない観光コンテンツを磨き上げ、魅力向上に努めます。</p> <p>(新) 姫路市の観光の魅力を上向きさせるため、姫路城の更なる活用によって文化的な価値を高めるとともに、<u>姫路市立美術館をはじめとする文化施設や観光事業者、商店街等と連携し、新たな魅力を創出するほか、歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりなどの取り組みを推進します。また、姫路市には豊かな自然、歴史、文化によって育まれてきた地域や伝統として守られている生活・暮らし、行事・祭事、四季の移ろいなど、現地でしか味わうことができない地域資源を多数有することから、新たな観光コンテンツとして磨き上げ、魅力向上に努めます。</u></p>
11	25	「戦略1」について、多様な観光資源として、伝統として守られている生活・暮らし・伝統行事・祭事や、四季の移ろいも十分な魅力ではないか。	
12	25	「戦略1」について、姫路市の観光を語るうえで姫路城は外せないが、リピーターの獲得を目指すなど、更なる姫路への誘客を図るには、姫路城以外の観光コンテンツの磨き上げが重要ではないか。	

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
13	28	<p>「戦略1(1)①姫路城の魅力的な活用、②姫路城周辺の魅力向上」について、国内外より姫路城を訪れた友人からは、外から見る姫路城は最高に美しいが、姫路城に入ると他のお城のように見る楽しみがない。また、姫路城周辺の店舗が早く閉店するなど、夜の姫路城を楽しむことができないとの意見が多かった。</p>	<p>(参考意見)          姫路城の大天守・小天守をはじめとする現存建築物は、文化財としての保護・継承を図りながら、往時の姿を残しているため、展示環境から、美術品等の展示が困難です。しかしながら、来城される方に、当時の暮らしや祭事を体感いただけるよう、千姫の復元着物の展示や大名行列の再現など、姫路城歴史体感プログラムを展開しております。また、多言語解説看板を充実させるとともに、ARアプリ(姫路城大発見アプリ)を使用することで、スマートフォンをかざすと、現存しない建造物の復元CGや城内の様子再現映像などをお楽しみいただけます。</p>
14	28	<p>「戦略1(1)③中心市街地でのウォークアブルなまちづくり」について、大手前通りの空きテナントに食べ歩きができる店舗や屋台があれば良い。</p>	<p>(参考意見)          大手前通りは、令和2年3月に『歩いて楽しい、大好きなお城への道』～「ひと」が集い「まち」とつながる大手前通り～をコンセプトに再整備されるとともに、令和3年2月に「歩行者利便増進道路」に指定されるなど、歩きながら楽しい道を目指しています。現在、歩行者利便増進道路制度による占用予定者を公募しており、令和4年5月に占用予定者を決定する予定で、魅力あるエリア活用が期待されます。</p>
15	28	<p>「戦略1(2)地域の観光地として魅力向上」として、姫路城、姫路セントラルパーク以外の観光名所を整備してはどうか。          (例)          ・姫路の「奥座敷」として、山村旅館群の整備          ・神戸のような東姫路駅周辺を「姫路南京町(北京町)」として整備          ・京都のような花見小路通などの小路通の整備          ・商店街の和装化          ・錦市場のような地元民・観光客が気軽に立ち寄れる市場の整備          ・京都の先斗町のような魚町などの花街を和装化に統一整備          ・新しい体験型的水族館の整備</p>	<p>(参考意見)          いずれの整備についても、多額な事業費とともに、関係者との合意形成が必要であることから、参考意見とさせていただきます。</p>

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
16	28	「戦略1(2)③拠点施設の整備・魅力の向上」に「手柄山中央公園については新駅、新体育館の整備に合わせて、スポーツツーリズムや桜・バラ園（山頂の緑の相談所周辺）を活かしたフラワーツーリズム及び平和学習施設等を活用して観光客の誘客を図る」を加えてはどうか。	(参考意見)
17	28	戦略3「効果的なプロモーションによる誘客推進」に、「スポーツコミッションの活用」「市花さぎ草、市蝶ジャコウアゲハの希少性に着目した保存、育成及び植物をテーマにして観光客を呼べるように大手前通り市民花壇による花によるおもてなし」などを加えてはどうか。(ジャコウアゲハの繁殖用のウマノズクサの苗を好古園でも育てている。)	本市の地域資源として、スポーツツーリズムやフラワーツーリズム（市花・市蝶などの自然文化など）、平和を切り口とした新たな魅力の創造が、本市での滞在時間の延長や観光消費額の増加につながるものと考えます。参考意見とさせていただきます。
18	29	「戦略1(3)①食や特産品等の開発支援、PR」について、取り組み内容を例示すべきではないか。	(修正) 姫路観光コンベンションビューローとも連携しながら、今後、観光コンテンツの磨き上げの一つとして、地元産の素材を活用したメニューや姫路らしい特産品等の開発支援やPRを進めてまいります。
19	29	「戦略1(3)①」について、食や特産品の開発支援、PRに努め、姫路ならではのもの、名物化を目指していくことはできないのか。	(旧) 地元産の素材を活用したメニューや姫路らしい特産品等の開発支援やPRを目指す。 (新) 地元産の素材を活用したメニューや姫路らしい特産品等の開発支援、PRを目指す。 ・飲食団体・グルメサイトを活用した情報発信 など

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
20	29	「戦略1(3)多様な観光コンテンツの発掘・磨き上げ」について、数年前まで産業観光(工場夜景・見学など)を率先して取り組んでいたと思うが、多様な観光コンテンツとして必要な事業と思われるため、明記できないか。	(修正) 多様な観光コンテンツの発掘・磨き上げの一つとして、町家が残る景観は、魅力的なコンテンツであると思われることから、本市としても、ソフト事業を中心に、観光面で支援できることを検討してまいります。また、周辺市町との連携に関しましては、広域連携の一つとして、今後の参考意見とさせていただきます。 また、工場夜景ツアーの充実は、本市滞在時間の延長や宿泊につながる施策として有効であると考えます。ご意見を踏まえ、追記いたします。
21	29	「戦略1(3)③歴史・文化・アート、景観・風景など多様なコンテンツの磨き上げ」について、姫路城プラスアルファの価値を高めることが重要であるため、現存している町家(姫路城下町エリアには、野里周辺と男山南部・船場方面に400～500棟の町家・家老屋敷が現存していると推定。飾磨、室津、高砂などの港町にも多数の町家が残る)の保存と町並みの再生による城下町の風情、賑わいを再興できないか。	(旧) 姫路ならではの伝統産業や文化芸術をはじめ、アートや景観・風景などを観光資源としてとらえ、磨き上げる。 ・オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト (新) 姫路ならではの伝統産業や文化芸術、 <u>産業観光</u> 、 <u>アートや町家</u> 、 <u>景観・風景・夜景</u> などを観光資源として磨き上げる。 ・オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト <u>など</u>
22	29	「戦略1(5)イベントによる魅力の創出」として、文化的価値の高いものも必要ではないか。	(参考意見) 本市では、文化芸術振興ビジョンを策定し、新たに開館したアクリエひめじを中心に、文化芸術に触れる機会の拡充や文化芸術を活用したまちづくりを進めており、今後、関係部署とも調整しながら、文化的価値の高いイベントなどの開催を目指してまいります。
23	29	「戦略1(5)」について、不定期でもよいので、姫路城でプロジェクションマッピングを開催してはどうか。また、SNSで話題になるように、姫路城のライティングを日替わりで色を変えことなどできないのか。	(参考意見) 姫路城でのプロジェクションマッピングの実施について、大天守への投影となれば、大手前通りをはじめ、周辺道路等からの観覧も多くなり、広範囲にわたる雑踏、交通対策を要し、大規模な警備体制を構築する必要があることから、例年、秋に開催しております姫路城ナイトイベントなどで、石垣や白壁に投影し、来城者にお楽しみいただいております。また、姫路城のライティングにつきましても、現在、姫路城の照明のLED化を進めております。いずれにいたしましても、夜の姫路城の活用につきましても、魅力的な観光コンテンツの一つとして、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えております。具体策を進める中での参考意見とさせていただきます。
24	29	「戦略1(6)②テーマに沿った各種団体等との連携による観光の推進」について、現在でも、姉妹都市や姉妹城など様々な都市・団体と連携を深めているが、今まで以上に、多様な連携を活かした取り組みを進めるべきではないか。	(参考意見) 取り組みの一つとして記載しているとおり、周辺市町やテーマに沿った連携による観光の推進として、播磨圏域をはじめ、世界遺産や日本遺産、国宝五城などのテーマに沿った連携は重要であると認識しております。特に、本市の周辺市町はもとより、県内の市町・団体とも連携を取りながら、観光施策を展開してまいります。

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
25	30	戦略1(1)②「姫路城周辺の魅力向上」に、「観光客の動線を踏まえた駐車場を活用した情報提供機能を充実させる。」を加えてはどうか。	(修正) 観光客に対する観光情報提供場所の一つとして、駐車場での情報提供は有効であるため、「戦略2(1)③観光施設における受入体制の整備」を修正します。なお、観光施策において、サイネージなどによる案内板やバリアフリー化等の重要性は十分に認識しており、受入体制の整備を進める中で、参考意見とさせていただきます。
26	30	戦略2(1)③「観光施設における受入体制の整備」に「姫路城周辺の大手門駐車場等の観光駐車場の機能の充実、利便性の向上(デジタルサイネージを大手門駐車場に設置・電気自動車の充電設備・大手門駐車場のトイレ改修)・「好古園のトイレの表示改善、バリアフリー化による増設」などを加えてはどうか。	(旧) 戦略2(1)③観光施設における受入体制の整備 案内サインの充実やデジタルを活用した情報提供、Wi-Fi等の整備を行う。 (新) 戦略2(1)③観光施設等における受入体制の整備 観光施設や駐車場など、案内サインや情報提供機能の充実、デジタルを活用した情報提供、Wi-Fi等の整備を行う。
27	31	「戦略2(2)②観光地の滞在環境の充実」について、滞在環境の充実として用いる場合であれば、「TAX FREE」ではなく「TAX FREE SHOP」または「免税店」が適当ではないか。	(修正) ご意見を踏まえ、修正いたします。 (旧) (略) ・TAX FREE など (新) (略) ・TAX FREE SHOP など
28	31	「戦略2(2)③市内における二次交通の充実」について、二次交通は周辺観光地へのアクセス整備も必要かと思われる。また、「MaaSの調査・研究」は必要ないのか。	(修正) ご意見のとおり、姫路城周辺以外のアクセス整備について本市の課題であると考えます。また、Mass等の調査・研究についても、追加記載させていただきます。 (旧) 城周辺ループバスや姫ちやりなど、二次交通の充実を図る。 (新) 城周辺ループバスや姫ちやりなど、二次交通の充実を図るほか、MaaS等の新技術の活用を目指す。
29	31	「戦略2(2)③」について、京都のように、観光バスやタクシーがあれば、観光客にとって交通費も安く、有効的に時間を使って観光できるのではないか。	(参考意見) 市内における二次交通の充実を図るべく、一部事業者が観光タクシーを運行しております。また、姫路観光コンベンションビューローでは、令和3年10月から12月にかけて、国の補助制度を活用し、「姫路観光まんきつキャンペーン」を実施し、割引料金で周遊バスや観光タクシーの利用促進を図りました。今後も姫路観光コンベンションビューローを中心に、交通事業者と連携し、利用者ニーズや採算性など踏まえて検討してまいります。
30	31	「戦略2(2)③」について、交通アクセスについては、国交省が提唱しているグリーンモビリティの導入が有効である。ウォークアブルシティやSDGs未来都市の施策として、政策との親和性も高く、車体のデザインに付加価値を与えればそれ自体が人を呼び込む素材になるのではないか。	(参考意見) 本市では、令和2年と3年に、自動運転機能付き電動車いす「ラクロ」を活用した社会実験を実施しました。市内における二次交通の充実、課題の一つであることから、参考意見とさせていただきます。

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
31	31	「戦略(1)④オーバーツーリズム対策の推進」については、「戦略2(観光客のニーズを踏まえた受入環境の整備)」に記載した方が適切ではないか。	(修正) ご意見のとおり、オーバーツーリズムの対策推進は、受入環境の整備での取り組みが適切であるため、戦略2に記載します。  (旧) 戦略1: 観光コンテンツの磨き上げによる魅力向上 (1) 姫路城周辺の魅力の創造と発信 ④ オーバーツーリズム対策の推進  (新) 戦略2: 観光客のニーズを踏まえた受入環境の整備 (2) 来訪者の利便性の向上 ④ オーバーツーリズム対策の推進
32	32	「戦略3(1)国内外のプロモーションの充実」について、書写山をもっとプロモーションできないのか。また、書写山までのシャトルバスを検討することができないのか。	(参考意見) ご意見のとおり、書写山は日本遺産(西国三十三所観音巡礼)で、映画のロケ地となるなど、魅力的な観光資源であるため、本市としても一層観光PRに努めています。また、書写山行きのシャトルバスにつきましては、交通事業者が土日、祝日に運行しており、本市としても多くの方にご利用いただけるよう書写山同様に、PRに努めてまいります。
33	32	「戦略3(1)」について、姫路グルメ(定番リスト等)を紹介するパンフレットを作成してはどうか。	(参考意見) 姫路グルメに関するパンフレットについては、姫路観光ガイドブック(観光パンフレット)のほか、地産地消に取り組む飲食店を掲載する冊子を作成し、PRに努めております。今後、食のPRをより充実なものにするため、姫路観光コンベンションビューローを中心に、地元産の素材を活用したメニューや姫路らしい特産品等の開発支援やPRを進めてまいります。
34	32	「戦略3(1)」について、ご当地キャラ(しろまるひめ、姫路城をモチーフにした新たなご当地キャラクターによるPR)を有効活用してはどうか。	(修正) 効果的なプロモーションツールの一つとして、しろまるひめによる姫路のPRに努めており、文言の追記とともに、ご意見につきましては、参考意見とさせていただきます。  (旧) 戦略3(1)④ 姫路ふるさと大使による魅力の発信 姫路ふるさと大使による魅力の発信や体制の充実を図る。  (新) 戦略3(1)④ 姫路ふるさと大使やしろまるひめ等による魅力の発信 姫路ふるさと大使やしろまるひめ(姫路市キャラクター)等による魅力の発信や体制の充実を図る。
35	32	「戦略3(1)④ 姫路ふるさと大使による魅力の発信」について、姫路市出身の有名人(YouTuberなど)を観光大使に任命してはどうか。	(参考意見) 姫路ふるさと大使による情報発信は、効果的であるため、本市に縁のある方にご就任いただいております。今後も、各界でご活躍されている方にご協力いただきながら情報発信の強化に努めてまいります。
36	32	「戦略3(1)⑤ 姫路の強みを活かした「教育旅行」の誘致促進」について、平和だけではなく、歴史、文化とともに、「教育旅行」の誘致促進を図るべきではないか。	(修正) ご意見を踏まえ、加筆修正いたします。  (旧) 平和をテーマとした教育旅行誘致に向け、受入環境の整備や観光プロモーションを展開する。  (新) 平和や歴史、文化等をテーマとした教育旅行誘致に向け、受入環境の整備や観光プロモーションを展開する。

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
37	35	「戦略5：観光を活かした産業振興・地域づくりの推進」について、姫路城がキラーコンテンツであるが故に姫路城プラスワンの創出が難しい中、司令塔となるDMOの期待は大きく、成功には先見性を持った人材と安定的（豊富）な財源かと思われる。	（参考意見） DMOによる観光地域づくりを推進するには、ご提案のとおり専門的人材と安定的財源は重要です。姫路観光コンベンションビューローがDMOとして多様な事業が展開できるよう本市としても積極的な支援に努めてまいります。

### ◎「第5章 プランの推進」に関すること

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
38	37	「姫路市観光戦略プランの推進体制」に、「その他団体（まちづくりに関わる市民活動団体、NPO法人、市の外郭団体）（姫路城イベントの実施、スポーツコミッションによる観光誘致など）」等を加えてはどうか。	（参考意見） 掲載スペースの関係で、推進体制図には記載していませんが、DMOとなった姫路観光コンベンションビューローによる地域一体となった観光関係づくりに取り組む中で、ご提案いただいた関係者との協力は不可欠であると考えています。
39	38	商店街やまちづくり団体（NPO・一般社団法人等）、地域商業やまちづくりの担い手となるメンバーとの情報交換を密にし、エリア一体となり観光戦略を推進する体制づくりが必要ではないか。	（参考意見） DMOとなった姫路観光コンベンションビューローを中心に、まちづくり団体等との連携を深め、誘客増につながる取り組みを進めてまいります。
40	38	広域連携による播磨の魅力を発信し、観光客を獲得していくため「広域観光の推進」「地域ブランドの育成」について、姫路市の観光戦略を推進するDMOが中心となって広域観光商品の開発や発信に努めてほしい。	（参考意見） 広域連携DMOである関西観光本部やせとうち観光推進機構と連携したプロモーションを展開していますが、さらに連携効果を高めるため、本市ならではの観光商品の開発、発信を通じて広域連携効果を高めてまいります。
41	39	近年多発する災害時等の危機対応のため、観光客を対象としたエリアとしてBCP計画等の作成を視野に強靱な体制作り（レジリエントなまちづくり）を進めてほしい。	（参考意見） 本市において、平成29年度に姫路市業務継続計画（BCP）を策定しており、この度の新型コロナウイルス感染症の影響など様々な災害等に対応できるよう、内容、体制の充実を図っています。ご意見を参考に、体制強化に努めてまいります。
42	39	令和4年度以降も、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける中、国内・国外観光客向けにもう少し明確にどのような計画（短期～長期）で誘致を図るのか記載すべきではないか。	（参考意見） 「第5章2 推進にあたって」に、観光プロモーションの取り組みについて記載しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する可能性もあることから、詳細の計画につきましては、DMOとなった姫路観光コンベンションビューローとも連携を図りながら、策定していきたいと考えております。

◎「その他」に関すること

番号	該当頁	意見の概要	市の考え方
43	—	<p>周辺地域との合併等をふまえ、城下町区（現：姫路市中央）、湾岸区（現：網干・大津・広畑・飾磨）、市川区（現：市川・別所地域）、揖保川区（現：姫路市西側）、福崎区（現：姫路市北側）の5区に分け、担当職員（民間登用の副市長級職員配置含む）を配置し、その区域の街起こしに専従させてはどうか。</p>	<p>（参考意見） 市内には数多くの貴重な地域資源があり、その資源を磨き上げ、観光資源として活用することが、本市の価値向上につながると考えています。そのためには、より専門性の高い知識が必要となることから、参考意見とさせていただきます。</p>
44	—	<p>市内の景観を整備したらどうか。 例) ・姫路城の門跡の復元 ・バロック小屋や耐久年数が過ぎた建物の取り壊しと整備 ・城下町区全体に石畳道路の整備 ・竹林等の整備</p>	<p>（参考意見） 観光地にふさわしい景観形成と美観向上として、環境整備を進めていきたいと考えておりますが、いずれの提案も多額の事業費や関係者との合意形成が必要なことから、参考意見とさせていただきます。</p>
45	—	<p>観光名所や景観の整備にあたり、年間予算では足りないものを、ファンドの設立等により、財源確保に務めてはどうか。</p>	<p>（参考意見） 予算に関しては、国の補助等を活用していきたいと考えていることから、参考意見とさせていただきます。</p>